

台湾日本語教育年表 (1895年-2015年)

東吳大學 賴錦雀 撰

西暦	年号	日本語教育関係政策	日本語教育事情	日本語教育を取り巻く環境
1895年	光緒21年 明治28年	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾総督府設置。 ・6月18日台湾総督府学務部事務開始。 ・7月15日日本語教育開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月17日伊澤修二台北着。 ・6月18日伊澤修二が大稻埕において台湾総督府学務部の事務を開始。 ・6月26日学務部を芝山岩に移す。 ・7月5日柯秋潔、朱俊英を日本語講習候補生に採用。 ・7月15日宜蘭支庁立明治語学校授業開始。 ・7月16日芝山岩学務部学堂日本語授業開始。 ・8月29日『日本語教授書』脱稿。 ・9月台北県立日本語学校授業開始。 ・12月17日『台湾十五音及字母表』脱稿。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月26日日本軍澎湖占領。 ・4月17日馬関条約締結、台湾日本に割譲。 ・5月25日台湾民主国成立。 ・6月17日台湾総督府始政式。 ・10月21日台湾民主国滅亡。 ・日本語が国語になる。 ・書房などによる漢文教育続行。
1896年	明治29年	<ul style="list-style-type: none"> ・3月31日台湾総督府直轄諸学校官制。 ・4月13日芝山岩学堂を国語学校付属芝山岩学堂と改称。 ・5月21日国語伝習所名称位置發布。 ・5月21日国語学校及付属学校名称位置發布。 ・6月1日芝山岩学堂を国語学校第一付属学校と改称。 ・6月15日日台語学校設立認可。 ・6月22日国語伝習所規則發布。 ・8月14日私立仏教会付属日本語学校設立認可。 ・9月25日国語学校規則發布。 ・9月27日国語伝習所給費生支給規則發布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝山岩事件。 ・2月2日『新日本語言集』脱稿。 ・2月11日『新日本語言集甲號』発行。 ・4月1日李春生の子弟李延齡以下7名を東京に留学せしむ。 ・6月4日台北県立日本語学校第一回卒業式挙行。 ・7月9日台北国語伝習所授業開始。 ・9月各地国語伝習所授業開始。 ・9月蕃人教育の施設恆春国語伝習所分教場開設。 ・『台湾適用小学読本教授指針』『台湾適用小学読本作文掛図教授指針』『台湾適用国語読本初歩』『台湾適用書牘文上下』『台湾適用会話入門』『台湾適用作法教授書』『新日本語言集甲號』『国語教授参考書』『台湾十五音及字母詳解』使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月1日芝山岩学務部員6名死亡。 ・4月7日台湾鉄道会社成立。 ・6月17日『台湾新報』発行
1897年	明治30年	<ul style="list-style-type: none"> ・2月18日勅語漢訳文捧読に関する訓令發布。 ・3月2日公学校模範学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日師範部、語学部生徒採用。 ・12月1日台南幼稚園開設。 ・『台湾適用書牘文教授書上下』使 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月21日台湾アヘン令發布。 ・5月8日国籍選択締切。

	年	規則取調委員任命。 ・4月国語学校の語学部、 師範部設立。 ・7月21日国語学校官制 公布。 ・7月21日国語伝習所官 制公布。 ・7月29日伊澤修二学務 部長非職。	用。 ・山口喜一郎来台。	
18 98 年	明 治 31 年	・7月28日台湾公学校令、 台湾公学校官制公布。 ・8月16日台湾公学校規 則発布。8-14歳児童就 学。 ・9月30日国語伝習所廃 止。 ・11月10日書房義塾に関 する規程発布。	・台湾公学校規則により、日本語と 台湾語との対照による教授法が取 られる。 ・『国語読本上、中、下巻』『小学よ みかき教授書及掛図』『小学読本巻 一四』などが教材。 ・『日台小字典』出版。 ・9月18日台湾初の日本語教育組織 国語教授研究会は橋本武、山口喜一 郎、小川尚義らによって発会。	・5月1日『台湾日日新報』 発行。漢文欄あり。 ・日本語の授業を加設し優 良な成績を上げる書房義塾 に補助金を下付する予定。
18 99 年	明 治 32 年	・3月31日台湾総督府師 範学校官制公布。	・10月台湾人教員養成師範学校開 校。 ・10月1日台中師範学校開校。 ・10月2日台北師範学校授業開始。 台南師範学校開校。 ・ゴアン言語教授法が国語学校第一 付属学校で山口喜一郎らによって 実施研究始まる。	・9月26日台湾銀行営業開 始。
19 00 年	明 治 33 年	・11月22日ゴアン言語教 授方案及公学校国語教 授要旨頒布。	・ゴアン言語教授法確立。 ・『台湾公学校読本巻一』同掛図、『国 民読本参照国語話方教材巻一』出 版。 ・5月27日『国語研究会会報』第1 号刊行。	・2月6日「解纏足」運動開 始。 ・12月10日台湾製糖株式会 社創立。
19 01 年	明 治 34 年	・5月1日図書編修職員官 制公布。	・『台湾教科用国民読本巻一～巻六』 『国民読本参照国語話方教材巻二』 『台湾教科用書国民読本掛図二』出 版。 ・6月1日国語（教授）研究会より拡 張組織された台湾教育会発会式。 ・7月20日『台湾教育会雑誌』第1 号刊行。	
19 02 年	明 治 35 年		・3月20日台北、台中両師範学校廃 止。 ・内容中心主義教授法導入。 ・『台湾教科用書国民読本巻七～巻 九』『台湾教科用書国民読本掛図三』 『台湾教科用書国民習字帳巻一～	

			六』『国民読本参照仮名遣法』『国民読本参照国語話方教材卷三』出版。	
1903年	明治36年	・1月9日、5月1日、9月18日台湾公学校規則中改正發布。	・『台湾教科用書国民読本卷十～十二』『台湾教科用書国民習字帳卷七～十二』『国民読本参照国語話方教材卷四上下』『国民読本参照国語話方教材卷五上下』出版。	・公学校「漢文」科目設立。
1904年	明治37年		・7月10日台南師範学校廃止。国語学校師範部に乙科設立。 ・11月4日嘉義に初の蕃童教育所開設。 ・『国語話方教材卷六下』出版。	・2月10日日露戦争勃発。
1905年	明治38年	・2月3日国語伝習所官制廃止公布。 ・2月3日蕃人ノ子弟ヲ就学セシムベキ公学校ニ関スル件公布。	・蕃人国語伝習所廃止、蕃人公学校設立。 ・『漢文読本卷一～三』出版。	・3月17日嘉義大震災。
1906年	明治39年		・各種学校認可。 ・『改正話方教材卷一～六』『漢文読本卷四～六』出版。	
1907年	明治40年	・2月26日台湾公学校令發布。 ・5月20日中学校官制公布、中学校規則發布。	・練習主義教授法導入。 ・『日台大辞典』出版。	・11月15日北埔事件発生。
1908年	明治41年	・3月13日蕃人兒童教育標準制定。 ・11月25日仮名及字音仮名遣教授ニ関し通達。	・『日台小辞典』出版。	・4月20日縦貫鉄道開通。
1911年	明治44年		・5月山口喜一郎帰国。 ・『台湾教育会雑誌』が117号より『台湾教育』に改名。	・2月8日阿里山鉄道開通。
1912年	明治45年 大正元年	・1月20日台湾公学校規則改正。	・8年制の公学校を廃止、6年制及び4年制とする。 ・直接教授法であるエスペルゼン氏言語教授法導入。台湾語規制現象が顕著になる。 ・『公学校用国民読本卷一、三、五、七』出版。	・3月23日林圯埔事件発生。 ・中華民国成立。
1913年	大正2年		・公文書の漢訳文の廃止。 ・『公学校用国民読本卷二、四、六、八～十二』『公学校国語教授書第一学年用』出版。	・11月20日苗栗事件発生。
1914年	大正	・4月18日蕃人公学校規則發布。	・3月以降、台中を始め、各地に国語夜学会、国語練習会設立、国語普及	

年	3 年		事業施設続立。 ・『公学校国語教授書第二学年用』出版。	
19 15 年	大 正 4 年	・2月3日台湾公立中学校官制公布。 ・2月11日台湾公立中学校規則發布。	・台中に公立中学校設立。 ・『蕃人読本卷一～三』『公学校国語教授書第三学年用』出版。 ・3月公学校児童国語演習会開催。	・8月3日噍吧哖事件発生。
19 16 年	大 正 5 年		・『蕃人読本卷四』『公学校用国民読本漢字調附發音転訛例』出版。	
19 18 年	大 正 7 年		・『公学校国語教授書第四学年用』『公学校綴方教授書第三四学年用』『国語ひき北蕃語辞典』出版。	
19 19 年	大 正 8 年	・1月4日台湾教育令公布。皇民化教育強化。 ・4月20日台湾公立高等普通学校規則發布。	・中学校、高等普通学校と女子高等普通学校設立。 ・国語学校を廃止、師範学校とする。 ・実業学校、専門学校設立。 ・『改正国語読本』出版。 ・構成式言語教授法第1回研究会台北師範学校付属公学校にて開催。	
19 21 年	大 正 10 年	・4月24日台湾公学校令廃止公布。 ・4月25日蕃人公学校規則廃止公布。	・構成式言語教授法流行り出す。	・10月17日台湾文化協会成立。 ・漢文復興運動、台湾語ローマ字運動展開。 ・反日本語普及運動展開。 ・11月12日『台湾通史』完成。
19 22 年	大 正 11 年	・2月6日新台湾教育令發布。	・4月1日中等教育以上内地人、台湾人共学。 ・『公学校用国語読本第一種卷一～三』『公学校用国語書き方手本第一種第一学年用』『公学校用国語書き方手本第一種第一学年用上』出版。	・12月16日杜聰明台湾人初博士号取得。 ・「漢文」が選択科目になる。
19 23 年	大 正 12 年		・『公学校用国語読本第一種卷四五六』『公学校用国語書き方手本第一種第二学年用下』『公学校用国語書き方手本第一種第三学年用上』『公学校用国語書き方手本第一種第四学年用上』出版。 『蕃人読本』修正。 ・9月『第一教育』創刊。	・4月15日『台湾民報』東京で発刊。
19 24 年	大 正 13 年		・『公学校用国語読本第一種卷八九』『公学校用国語書き方手本第一種第四学年用下』『公学校用国語書き方手本第一種第五学年用上』出版。	

19 25 年	大 正 14 年		・『公学校用国語読本第一種卷十一』『公学校用国語書き方手本第一種第五学年用下』『公学校用国語書き方手本第一種第六学年用上』出版。	
19 26 年	大 正 15 年 昭 和 元 年		・『公学校用国語読本第一種卷十二』『公学校用国語書き方手本第一種第六学年用下』出版。	
19 27 年	昭 和 2 年		・日、台語併用などを主張する蔣渭水学制改革案提出。	・8月10日『台湾民報』台湾で発行。
19 28 年	昭 和 3 年	・3月17日台北帝国大学官制公布。	・3月17日台北帝国大学設立。 ・11月24日台北放送局放送開始。	
19 29 年	昭 和 4 年	・台中国語講習所が設立。	・『公学校用国語読本第二種卷一～四』出版。 ・パイワン語集出版。	
19 30 年	昭 和 5 年	・4月2日台北州国語講習所要項及簡易国語講習所要項制定。	・『公学校用国語読本第二種卷五～七』出版。 ・『台日大辞典上巻』出版。 ・アタヤル語集出版。	・10月27日霧社事件発生。
19 31 年	昭 和 6 年	・台湾ニ於ケル公立ノ特殊教育施設ニ関スル件発布。	・各地に国語講習所設置。 ・『公学校用国語読本第二種卷八～十二』出版。 ・『台日大辞典下巻』、『廣東話辞典』出版。 ・6月国府種武『台湾における国語教育の展開』発行。	
19 32 年	昭 和 7 年		・『台日小辞典』出版。	
19 33 年	昭 和 8 年	・国語普及十年計画樹立。	・書房の開設禁止。 ・アミ語集出版。 ・3月山口喜一郎『外国語としての我が国語教授法』発行。	
19 34 年	昭 和 9 年			・11月5日『台湾文芸』創刊。

	年			
1935年	昭和10年	・6月より国語普及ラジオ放送。	・『国語読本』改定出版。	・4月21日新竹台中大震災。 ・台湾博覧会開催。
1936年	昭和11年		・8月国府種武『台湾における国語教育の過去と現在』発行。	
1937年	昭和12年	・1月15日漢文科目廃止。 ・6月新聞漢文欄廃止。 ・国語家庭制度実施。 ・高砂族国語講習所規定準則発布。	・「漢文」科目の廃止、台湾語禁止。 ・日本語化遂行。 ・本島人日本語理解者37%。	・皇民化運動開始。 ・「盧溝橋事変」発生。
1938年	昭和13年		・寺川喜四郎『北部台湾に於て福建系本島人の使用するアクセント研究』発表。	
1939年	昭和14年		・11月国府種武『日本語教授の実際』発行。	
1940年	昭和15年		・日本姓名改称奨励。 ・日本語普及率51%。	・2月11日総督府戸口規則修正により改姓名運動開始。
1941年	昭和16年	・4月1日台湾教育令、国民学校令公布。	・小学校、公学校を国民学校に改名。 ・各教科書の教材中、生活に関するものは日本国民的なものを採択。 ・7月寺川喜四郎『台湾における国語音韻論（音質・音量篇）』出版。	・4月19日皇民化運動積極化。 ・7月15日『民俗台湾』創刊。 ・12月7日太平洋戦争勃発。
1942年	昭和17年			・台湾人志願兵入営。
1943年	昭和18年	・4月1日6年制義務教育実施。 ・国語常用机使用。	・7月山口喜一郎『日本語教授法原論』（『外国語としての我が国語教授法』より改題）発行。	・11月27日カイロ宣言発表。
1945年	昭和20年	・11月「台湾省国語推行委員会」設立準備。 ・11月17日街道名称改正案発布。	・日本式街道名称改称。 ・台湾大学で日本語が必修科目のまま。	・終戦。台湾が日本から解放。 ・10月25日国民政府管轄開始。

	民国 34 年			・日本語が外国語となる。
19 46 年	民国 35 年	・4月2日台湾省国語推行 委員会設立。 ・10月1日新聞日本語版 禁止令公布。 ・12月25日台湾作家日本 語作品出版禁止。	・10月25日より新聞日本語版発行禁 止。	・日本映画輸入禁止。 ・日本語のルビを参照して 作られた「注音符號」が導 入。
19 47 年	民国 36 年	・2月14日日本語レコー ド禁止令発布。 ・6月10日学校教職員生 日本語使用禁止令発布。 ・6月25日日本語書籍販 売禁止令発布。 ・9月3日国民学校生徒日 本名使用禁止令発布。 ・9月5日学校教職員生日 本語使用禁止令発布。 ・12月1日日本語看板禁 止令発布。	・台湾省行政長官署日本語歌発行禁 止令実施。 ・台湾省教育庁学校教職員生日本語 使用禁止令実施。 ・台湾省政府日本語書籍販売禁止令 実施。 ・国民学校生徒日本名使用禁止令実 施。 ・台湾省政府学校教職員生日本語使 用禁止令実施。 ・台湾省社会処日本語看板禁止令実 施。	・228事件発生。 ・台湾方言使用可。
19 48 年	民国 37 年		・10月台湾大学で日本語が選択科目 として他の外国語と並ぶ。12月ま で一部日本人教師による授業は日 本語で実施される。 ・12月1日朱兆祥「剷除日語」(国語 日報)発表。	・5月20日蔣介石中華民国 総統就任。
19 49 年	民国 38 年	・6月28日台湾大学日本 語版ポスター禁止令発 布。	・台湾大学で一部の廣告を除いて、 日本語版ポスター、ビラなどが禁 止。	・2月4日「三七五減租」実 施。 ・5月20日戒嚴令実施。 ・12月10日蔣介石来台。
19 51 年	民国 40 年	・8月24日「台湾省各県 山地推行国語辦法」令発 布。	・原住民日本語使用禁止令実施。	
19 52 年	民国 41 年	・12月16日「台湾省各県 市政府施政準則」発布。	・国語運動普及のため、学校におけ る日本語、台湾語使用禁止。 ・補習班日本語教育解禁。	・4月28日中日和平条約締 約。 ・日本映像商品は制限付き に輸入される。 ・学校では中国語以外の言 語が使用禁止になる。
19 53 年	民国 42 年	・3月31日各級学校生徒 簡体字、日本式漢字書写 禁止令発布。		
19	民			・大学連合入試開始。

54年	国43年			・日本政府国費留学生奨学金制度実施。
1956年	民国45年		・黄仲図著『大学日本文法』出版。	
1957年	民国46年	・5月14日日本式漢字使用禁止令發布。 ・10月9日教会におけるローマ字規制案發布。	・教育部令による日本式漢字使用禁止令実施。	
1958年	民国47年	・1月23日「台湾省加強山地教育實施辦法」發布。	・原住民子弟の多い国民学校における精神講話での日本語使用禁止令実施。	・「台湾警備總司令部」設立。 2月15日教会におけるローマ字規制緩和。
1959年	民国48年	・1月18日中国語映画に台湾語説明禁止令發布。		
1961年	民国50年		・9月アクセント記号付き教科書『日本語綜合読本』（曹欽原著）發行。	
1962年	民国51年			・4月28日台湾テレビ局成立。 ・日本映画輸入禁止。
1963年	民国52年	・2月25日中国文化学院東方語文学系日文組設立認可。	・戦後、台湾の大学における初の日本語教育機関成立。	
1964年	民国53年	・中国文化学院日本研究所設立		
1965年	民国54年	・1月28日日本語使用禁止。 ・7月10日「加強推行国語實施計畫」実施。	・民間における日本語の歌、日本語無使用を教育庁長が勸告。 ・日本語使用規制。	・「日片進口辦法」が制定され、日本映画輸入再開。
1966年	民国55年	・7月淡江文理学院東方語文学系設立認可。	・12月レコード付き日本語教科書『変衍式日語会話』（蔡茂豊著）發行。	
1968年	民国57年	・中国文化学院日本研究所修士課程院生募集開始。	・6月16日中国文化学院日本語組紀要『中日文化』創刊。	・九年国民義務教育実施。

	年	・9 月国防語文学校日文班設立認可。		
1969年	民国58年	・輔仁大学東方語文学系日本語文組設立認可。		
1970年	民国59年	・6 月 10 日番組中国語使用増加、外国語、台湾語使用減少。	・5 月淡江文理学院東方語文学系紀要『東方語・文学』創刊。	
1971年	民国60年	・6 月 1 日国語日報外来語国語化運動推薦。		・10 月 26 日台湾連合国脱退。 3 月公共場所におけるビデオ放映禁止。
1972年	民国61年	・4 月 10 日東呉大学外国文学系東方語文組設立認可。 ・6 月 17 日番組全面中国語化案提出。	・日本語構文論教科書『現代日語文的句法』（蔡茂豐著）発行。	・9 月 29 日台日国交断絶。日本産品、日本語ボイコット運動開始。 ・財団法人交流協会奨学金制度実施。
1973年	民国62年	・3 月 14 日教育部長蔣彥士が方言消滅の意思なしと主張。	・輔仁大学東方語文学系紀要『日本語・日本文学』創刊。 ・東呉大学社会人教育日本語クラス設立。	・日本映像商品輸入禁止。
1975年	民国64年		・4 月交流協会日本語専門家原土洋就任。 ・交流協会・日本留華学生会共催「中日弁論大会」開催。	
1976年	民国65年	・「廣播電視法」実施。	・東呉大学東方語文学系紀要『東呉日本語教育』創刊。	・番組における台湾語規制。 ・ソニーベーター方式家庭用ビデオデッキが台湾に持ち込まれた。
1977年	民国66年		・蔡茂豐「各大学・専科学校の日本語教育に関する統計」調査実施。	・8 月 17 日「郷土文学」論戦開始。 ・11 月 19 日中壢事件発生。 ・VHS 方式家庭用ビデオデッキが台湾に持ち込まれた。 ・貸しビデオ店登場。
1979年	民国68年	・11 月 16 日行政院「加強外国語文訓練培養実務人才実施計画要点」通過。	・10 月中華民國日本研究学会創立。	・1 月 1 日台米国交断絶。 ・1 月 9 日海外旅行解禁。 ・4 月 10 日米「台湾関係法」成立。 ・12 月 10 日美麗島事件発生。
1980年	民国69年	・国立台中商業専科学校応用外語科日本語組設立認可。 ・2 月東呉大学日本文化	・国立専門学校で初の日本語科成立。 ・東呉大学大学院修士課程「日本文化研究所」成立。	

		研究所修士課程設立認可。 ・日本映画一部解禁。	・8 月中華民国日本研究学会日本語教育シンポジウム開催。	
1981年	民国70年	・教育部管轄ラジオ放送局日本語講座開始。	・公務員日本語クラス設立開始。 ・教育ラジオ放送局日本語講座開講。 ・7月31日台湾人向け日本語教材『日本語読本』（蔡茂豊著）発行。 ・8月10日-9月5日東呉大学日本語日本文学夏期講座第一期開講。 ・12月新聞局雑誌『光華』日本語版発行。	
1982年	民国71年	・国防部管轄ラジオ放送局日本語講座開始。	・復興ラジオ放送局日本語講座開講。 ・4月東呉大学日本語教師林錦川日本拓殖大学留学生別科派遣。 ・8月5-25日東呉大学日本語日本文学夏期講座第二期開講。	中曽根康弘が日本首相就任。
1983年	民国72年	・淡江大学日本研究所修士課程設立。 ・高校指導要領「高級中学課程標準」発布。フランス語、ドイツ語、スペイン語が第二外国語として指定される。	・財政部日語人才養成班設立。 ・4月東呉大学日本語教師鍾芳珍日本拓殖大学留学生別科派遣。 ・1983年に第二外国語が普通高校の学習要領「高級中學課程標準」に選択科目として入れられた。	日本政府が1983年に留学生受け入れ10万人計画発表。
1984年	民国73年		・4月東呉大学日本語教師蘇文郎日本拓殖大学留学生別科派遣。 ・8月6-25日東呉大学日本語日本文学夏期講座第三期開講。 ・アジア航空会社・日華青少年交流協会主催「日本亞細亞航空盃日語演講比賽」開催開始。	・NHK衛星放送開始。
1985年	民国74年	・「語文法」企画。	・經濟部日語人才訓練班設立。	
1986年	民国75年	・育達商業職業学校商用日文科設立認可。 ・放送大学日本語授業設置。	・4月東呉大学日本語教師陳永基日本拓殖大学留学生別科派遣。 ・初の中等教育日本語科育達商業職業学校商用日文科成立。 ・「空中大学」テレビ講座日本語授業開講。 ・日本語学習誌『学日文説日語』創刊。	・9月28日民主進歩党成立。
1987年	民国76年	・3月27日中国語、台湾語、客語、英語、日本語によるケーブルテレビ	・日本語学習誌『和風』『日本語ジャーナル階梯雑誌』発行。 ・4月東呉大学日本語教師賴錦雀日	・番組制作規範により、2月6日日本語による日本女優古手川祐子のインタビュー

	年	局創立案提出。 ・8月20日台湾語使用処罰禁止。	本拓殖大学留学生別科派遣。	が放送禁止になる。 ・7月15日戒嚴令廃止。言論統制開放。 ・11月2日中国親族訪問解禁。
1988年	民国77年		・環保署日語人才訓練班設立。	・1月1日新聞創刊解禁。 ・1月13日蔣經國死亡。蔣家集權統治終焉。 ・李登輝氏中華民國總統就任。台湾の自由民主時代開始。 ・9月ビデオソフト一部輸入解禁。 ・パラボラアンテナ設置ブームが起こる。
1989年	民国78年	・国立政治大学東方語文学系日文組設立認可。	・3月台湾日本語文研究会創立、毎月例会開催。 ・国立大学初の日本語組国立政治大学東方語文学系日文組成立。	。
1990年	民国79年	・文藻外語学院日本語文科設立認可。 ・10月東呉大学日本文化研究所博士課程設立認可。	・中華テレビ日本語講座開講。 ・台湾日本語文研究会紀要『台湾日本語文研究会論文集』創刊。 ・教育部・交流協会・語言訓練測驗中心共催「全国大專院校日語演講比賽」開催開始。	・中国語普及率90%。
1991年	民国80年	・教育部大学課程標準修訂委員会で「大一外文」が「大一英文」のかわりになる。	・7月東呉大学日本語教師賴錦雀、陳永基、林雪星、彭思遠シンガポール国立大学日本語研究科派遣。 ・台湾初の日本語関係博士課程東呉大学日本文化研究所博士班創立。 ・淡江大学『日本論叢』創刊。	
1992年	民国81年	・公費留学日本留学定員15名に増加。 ・東海大学日本語文学系設立認可。 ・台湾大学日本語文学系設立認可。	・東海大学に台湾中部初の大学日本語学科創立。 ・台湾日本語文研究会が中華民國日本語文学会に改名。	
1993年	民国82年	・輔仁大学日本語文研究所設立認可。 ・和春技術学院応用日語系、高苑技術学院応用日語系、東方工商專科学校応用外語科日文組設立。 ・台北市小学校高学年生徒英語教育実施。	・1月17日「中華民國日語教育学会」創立。 ・6月19-20日東呉大学で初の大学日本語教育国際シンポジウム開催。 ・「台湾南部日本語教師会」成立。 ・「大一外文」課程実施により大学で日本語の授業が「大一外文」の一環になる。 ・『台湾日本語文研究会論文集』が『台湾日本語文学報』に改称。	・7月16日「有線電視法」(ケーブルテレビ法)通過。 ・11月10日無線テレビ日本製番組放映解禁。

1994年	民国83年	<ul style="list-style-type: none"> ・2月7日「師資培育法」發布。 ・台湾大学日本語文学系募集開始。南榮技術学院応用日語学系設立。 ・9月日本語テレビ番組解禁。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月中華民國日語教育学会紀要『台湾日本語教育論文集』創刊。 ・9月日本語教師養成教職課程開始。 ・国立大学初の日本語文学科-台湾大学日本語文学系創立。 ・蔡茂豐指導・東呉大学博士班院生「台湾地区日語教師動力調査」実施。 ・幾つかの高校が実験として日本語の授業を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日劇元年」と言われる。 ・10月日本映像商品解禁。
1995年	民国84年	<ul style="list-style-type: none"> ・高校指導要領「高級中学課程標準」發布。日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語が第二外国語として指定される。 ・中州技術学院応用外語科日文組設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通高校日本語教育開始。 ・12月23-24日中華民國日語教育学会・淡江大学日本語教育シンポジウム「国際化時代の日本語教育」開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1995年5月15日付き自由時報によると、高校生に一番人気のある外国語は日本語であるという。
1996年	民国85年	<ul style="list-style-type: none"> ・銘伝大学応用日語学系、環球技術学院応用外語科日文組、親民工商專科学校応用外語科日文組設立。 ・教育部「推動高級中学選修第二外国語文実験計画」実施。 ・9月行政院教育改革委員会「積極規画国民小学学生必修適量之英語課程」案通過。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流協会岡本輝彦『台湾における日本語教育事情調査報告書平成8年度』発行。 ・中華民國日本語教育学会・淡江大学日本語教育シンポジウム開催。 ・5月25日教育部主催「第一届全国第二外語教学研討会」開催。 ・大学日本語学科学生教職課程履修認可。 ・「推動高級中學選修第二外語課程實驗計畫」開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「哈日族」という言葉がよく使われる。 ・看板に日本語が登場。例：「夏木漱石」「村上春樹」「村上村樹」「奥の細道」。
1997年	民国86年	<ul style="list-style-type: none"> ・真理大学応用日語学系、元智大学応用外語系、国立高雄第一科技大学応用日語系、南台科技大学応用日語系、淡江大学技術学院応用日語系、大仁技術学院応用外語系日文組、呉鳳技術学院応用外語系日文組設立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月26日淡江大学「兩岸外語研討会」開催。 ・4月日本語学習誌『跟我学日語』『日語通』創刊。 ・東呉大学日本語文学系博士課程募集停止。 ・「台湾日本語言文芸研究学会」成立。 ・7月『東呉日本語教育』が『東呉日語教育学报』に改称。 ・8月1日「成長中等学校日語教育学会」成立。 ・9月20日中華民國日本語教育学会・輔仁大学「日本語文学国際会議」開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月13-19日『新新聞』527期で「哈日族」が特集記事される。 ・9月台北市小学校三年生英語実験教育開始。
1998年	民国87年		<ul style="list-style-type: none"> ・1月26日中華民國日本語教育学会・輔仁大学「邁向二十一世紀的日本研究国際会議」開催。 	

	年		<ul style="list-style-type: none"> ・4 月銘伝大学応用日本語学系紀要『銘伝日本語教育』創刊。 ・7 月 2 日銘伝大学応用日本語学系「台湾日語教育問題之探討」シンポジウム開催。 ・7 月交流協会招聘台湾人日本語教師日本研修実施開始。 ・12 月教育部委託編集高校教科書『日語教材』完成、試用。 	
1999年	民国88年	<ul style="list-style-type: none"> ・7 月より教育部「推動高級中學第二外語教育五年計畫」実施。期間は1999 年 7 月-2004 年 12 月。 ・靜宜大学日本語文学系設立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾日本語学習者数は192645 人ある。 ・5 月 14 日南台技術学院日本語教育国際会議開催。 ・長友和彦によって台湾日本語教育に第二外国語習得理論が導入。 ・7 月 1 日銘伝大学応用日本語学系「台湾日語教育問題之探討」シンポジウム開催。 ・中華民国日語教育学会が台湾日本語教育学会に改名。 ・12 月 4 日靜宜大学「台湾近代化と日本」国際会議開催。 ・12 月 18 日台湾大学・台湾日本語教育学会シンポジウム「新世紀日本総合研究国際会議」開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1999 年の小中学校学習要領「國民中小學九年一貫新課程綱要」が実施され、「英語」項目が増えた。 ・1999 年 11 月 16 日付き中時晩報によると、9 割近くの大学生にとって日本語が英語に次いで人気のある外国語であるという。 ・テレビやコマーシャルに日本語登場。例：「消費高手おはよう」、「伊吉邦」「卡娃依」。
2000年	民国89年	<ul style="list-style-type: none"> ・銘伝大学応用語文研究所日語組設立認可。大葉大学、育達商業技術学院、立德管理学院、興國技術学院、致遠管理学院応用日語学系、屏東商業技術学院応用日語系、修平技術学院応用外語系日文組設立。 ・台中技術学院二技應用外語系日文組成立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 月東吳大学『蜂矢宣朗先生傘寿記念論文集』発行。 ・2 月 26 日東吳大学主催第 1 回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・3 月 21 日中国文化大学「日本研究・台日関係・日本語教育国際シンポジウム」開催。 ・5 月 6 日政治大学「華人地區學習日語之教材・工具書研討会」開催。 ・6 月 1 日淡江大学「兩岸外語教學研討会」開催。 ・6 月 24 日淡江大学応用日語系「日本語教育學術研討会」開催。 ・7 月 1 日交流協会日本語センター設置。 ・7 月 4 日銘伝大学応用日本語学系「台湾日語教育問題之探討」シンポジウム開催。 ・10 月交流協会谷口龍子『台湾における日本語教育事情調査報告書平成 11 年度』発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「全民英語能力分級檢定測驗」(略称「全民英檢」か GEPT) 実施開始。

			<ul style="list-style-type: none"> ・12月8.9日高雄第一科技大学「外語学術教学会議」開催。 ・12月16日東呉大学「日語教学国際会議」開催。 ・12月23日台湾大学・台湾日本語教育学会シンポジウム「追求卓越的日本研究国際会議」開催。 ・12月台湾大学日本語文学系紀要『台大日本語文研究』創刊。 	
2001年	民国90年	<ul style="list-style-type: none"> ・国立高雄第一科技大学応用日語系大学院修士課程設立。 ・慈濟大学医学院東方語文学系日文組、義守大学応用日語学系、景文技術学院応用日語系、明道管理学院応用日語学系、樹人醫護管理專科學校応用外語科日文組設立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月20日交流協会日本語センター情報誌「いろは」創刊。 ・2月21日東呉大学主催第2回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・「台湾日本語文研究会」が「台湾日本語文学会」に改名。 ・5月南台科技大学応用日語系紀要『南台応用日語学報』創刊。 ・6月2日南台科技大学「技職院校応用日語系日語課程教材教具学術研討会」開催。 ・6月16日銘伝大学応用日本語学系「台湾日語教育問題之探討」シンポジウム開催。 ・6月淡江大学「亞洲中の日本・6月日本中の亞洲国際会議」開催。 ・7月頼錦雀企画・編集『東呉日本語文研究二十年』発行。 ・10月13日交流協会主催中等教育日本語教師研修会開始。 ・11月10日台湾大学・台湾日本語教育学会シンポジウム「二十一世紀的日本研究国際会議」開催。 ・11月17日台湾日本語文学会国際シンポジウム開催。 ・11月3日東呉大学主催第3回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「九年一貫教育」実施。 ・母語教育開始。 <p>小泉純一郎が日本首相就任。</p>
2002年	民国91年	<ul style="list-style-type: none"> ・東呉大学日本語文学系博士課程募集再開認可。 ・長榮大学応用日語学系、世新大学日本語文学系第二部、開南管理学院応用外国語文学系日語組、慈恵醫護管理学校応用外語科日文組設立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月19-20日東海大学「大学教育目標與日語教育研討会」開催。 ・東呉大学日本語文学系博士課程募集再開。 ・2月2日高雄第一科技大学「第一屆応用日語国際学術研討会」開催。 ・2月2日「台湾応用日語学会」成立。 ・3月銘伝大学「新世紀日本研究国際会議」開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「挑戦 2008 国家計画」実施により、国際化＝英語化。 ・10月10日華僑代表羅王明珠が国慶節記念大会での日本語挨拶で批判される。

		<ul style="list-style-type: none"> ・5月4日政治大学シンポジウム「大学日語教学與社会結合度」開催。 ・6月1日銘伝大学シンポジウム「日語系教学問題之探討」開催。 ・6月東吳大学『蔡茂豐教授古希記念論文集』發行。 ・7月靜宜大学日本語文学系紀要『日本学と台湾学』創刊。 ・9月16日交流協會日本語センター「公務員日語班」開講。 ・10月4、5日淡江大学「兩岸外語教学研討会」開催。 ・11月2日東吳大学主催第4回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・11月9日台湾大学・台湾日本語教育学会シンポジウム「二〇〇二日本研究國際會議」開催。 ・11月27日台湾日本語文学会シンポジウム開催。 ・12月7日東吳大学「二〇〇二日語教学國際會議」開催。 ・12月台湾日本研究学会全国主催「全国大專院校日語演講比賽」開催開始。 ・日本語学習者数は128641人ある。 ・日本留学試験(EJU®)実施開始。 	
2003年	民国92年	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾大学日本語文学修士課程、政治大学日本語文学系修士課程、長榮大学日本研究所修士課程成立。 ・致理技術学院応用日語系、中華大学外国語文学系日本語文学組、中山医学大学応用語言学系日文組設立。 ・台中技術学院四技應用外語系日文組成立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔡茂豐『台湾日本語教育の史的研究(上)(下)』刊行。 ・6月賴錦雀企画・陳淑娟編集『東吳日語教育三十年』發行。 ・6月28日台湾日本語教育学会・政治大学座談会「日語教学與日本研究接軌問題探討」開催。 ・9月8日育達商職「台北市92年度第一学期公私立高中高職教師日語教学專業知能研習会」開催。 ・9月27日台湾応用日本語学会・高雄第一科技大学國際會議「異文化溝通-台湾・日本・世界」開催。 ・10月14日高雄第一科技大学日本語文学國際シンポジウム開催。 ・11月1日東吳大学主催第5回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・11月29日淡江大学日本研究所創立二十周年記念國際會議「日本思想・

			<p>・「價值觀的文化變遷」開催。</p> <p>・12月6日台湾日本語教育学会・政治大学シンポジウム開催。</p> <p>・12月20日日本語文学会シンポジウム開催。</p>	
2004年	民国93年	<p>・南台科技大学応用日語研究所設立。</p> <p>・世新大学日本語文学系第一部設立。</p> <p>・9月10日教育部「推動高級中學第二外語教育五年計畫第二期」實施決定。</p> <p>・台中技術學院二技應用外語系日文組が應用日語系に組織変更。</p> <p>・和春技術學院應用外語系日文組が應用日語系に組織変更。</p>	<p>・1月1日大学入試センター日本語入試科目考案研究開始。</p> <p>・1月3日交流協会第1回日本語教師実践講座開催。</p> <p>・1月政治大学日本語文学系紀要『政大日本研究論集』創刊。</p> <p>・3月12日銘伝大学2004国際シンポジウム「応用語文教育的理論與實際」開催。</p> <p>・3月27日台湾日本研究学会主催「2004年度全国大專校院日本語スピーチコンテスト」開催。</p> <p>・3月交流協会藤井彰二『台湾における日本語教育事情調査報告書平成15年度』発行。</p> <p>・4月10日「台北市九十二学年度公私立高中日語聯合成果發表活動」実施。</p> <p>・4月30日淡江大学技術學院應用日語系主催「日本語ディベート交流会」開催。</p> <p>・5月育達商業技術學院第一屆應用日語學術研討會「日本文化教育經濟貿易之應用」開催。</p> <p>・10月2日教育部・交流協会「日語教育區域巡回研習會『今後的日語教育』」台北にて開催。</p> <p>・10月23日教育部・交流協会「日語教育區域巡回研習會『今後的日語教育』」台中にて開催。</p> <p>・10月23、24日文藻外語學院「第一屆兩岸外語大學院校學術研討會暨多媒體教學研習會」開催。</p> <p>・10月30日交流協会主催・台湾日本語文学会共催「日本文化座談會」開催。</p> <p>・10月30日東吳大学主催第6回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。</p> <p>・11月14日2004年第2回日本留學試験実施。</p> <p>・11月27日政治大学・台湾日本語教</p>	<p>・交流協会『2003年度台湾における日本語教育事情調査』報告書発表。</p> <p>・NHKは台湾を中国の一部と主張したので、7月30日自由時報でテレビ番組欄のNHK亜細亞台（NHKワールドTV）の項目を白紙にした「NHKボイコット事件」が起こった。</p>

			<p>育学会「日本語教育及文化研究国際学術検討会」開催。</p> <p>・11月27日長栄大学・台湾日本語言文芸研究学会「2004年日本語文化研究国際学術検討会」開催。</p> <p>・12月5日日本語能力試験実施。</p>	
2005年	民国94年	<p>・3月教育部「推動高級中學第二外語教育五年計畫第二期案」（2005-2009年）通過。</p> <p>・「推動高級中學第二外語教育工作小組」を設置。</p> <p>・8月1日開南管理学院応用日語学系設立。修平技術学院応用日語系成立。</p> <p>・10月東海大学日本語文学科修士課程 淡江大学日本語文学科修士課程設置認可。</p> <p>・「北區大學外文中心」成立。</p> <p>・台中技術学院四技應用外語系日文組が應用日語系に組織変更。</p> <p>・修平技術学院応用外語系日文組が應用日語系に組織変更。</p>	<p>・「推動高級中學第二外語教育第2期5年計畫」開始。</p> <p>・3月12日銘伝大学「応用語文教育の理論と実際」国際シンポジウム開催。</p> <p>・3月26日全国大專院校日本語スピーチコンテスト開催。</p> <p>・4月29日東呉大学客員教授・台湾日本語教育学会創会会長蔡茂豊日本政府「旭日中綬章」受章。</p> <p>・4月30日東呉大学「日本語教育国際シンポジウム」開催。</p> <p>・5月6日高雄第一科技大学「2005年口筆訳教学国際検討会」開催。</p> <p>・5月14日中国文化大学「2005年日本文学国際学術検討会」開催。</p> <p>・5月20、21日台湾大学にて「第8回比較語彙学術シンポジウム」開催。</p> <p>・5月21日靜宜大学「中部地域日本研究学術討論会」開催。</p> <p>・5月26日景文技術学院シンポジウム「技職體系応用日語系之定位與展望」開催。</p> <p>・5月31日育達商業技術学院「第二屆応用日語国際学術検討会」開催。</p> <p>・6月4日台湾応用日本語学会「応用日語教学検討会」開催。</p> <p>・6月4日大葉大学2005年度台日日本語学国際シンポジウム開催。</p> <p>・6月19日2005年第1回日本留学試験実施。</p> <p>・7月2、3日東海大学国際会議「台湾・韓国・沖縄で『日本語』は何をしたのか？」開催。</p> <p>・9月9、10日日本天理台湾学会第15回研究大会台北にて開催。</p> <p>・9月東呉大学新入生第二外国語履修規制。</p> <p>・10月29日東呉大学主催第7回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。</p>	<p>・一部の大学で、新入生で英語力があるレベルに達しないと第二外国語として日本語を履修してはいけない、という外国語教育政策が実施される。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・11月5日台湾日本語文学会・台湾大学主催・国家科学委員会人文研究中心共催第2回「當代認知語言學與日語研究創新」シンポジウム開催。 ・11月19日台湾日本語言文芸研究学会主催「2005年日本言語文化研究国際学術会議」開催。 ・12月2・3日「2005南台科技大學語文教育國際學術研討會：學習者的研究與分析」開催。 ・12月3日台湾日本語教育学会2005国際学術会議開催。 ・12月4日日本語能力試験実施。 ・12月17日台湾日本語文学会主催「2005年度日本語文研究」シンポジウム開催。 ・12月18日教育部・交流協会・中央放送局共催「2005全国大学専科学校日本語スピーチコンテスト」開催。 	
2006年	民国95年	<ul style="list-style-type: none"> ・高雄餐旅學院應用外語系日語組成立。 ・淡江大學日本語文學系碩士班、義守大學應用日語學系碩士班、開南大學應用日語學系碩士班成立。 ・2006年に職業高校「外語群科中心」を台南高級職業中学に設置。 ・淡江大学技術学院応用日本語系廃止。 ・淡江大學日本研究所が亜洲研究所日本研究組に組織変更。 ・開南大学応用日語学系修士課程設立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人交流協会『台湾における日本語教育事情調査報告書2006年度』発行。 ・3月18日銘伝大学「2006応用語文教育の理論與實際」国際シンポジウム開催。 ・5月5日台湾応用日本語学会「応用日語国際学術研討会」開催。 ・5月20日静宜大学「2006年日本学與台湾学國際學術研討會」開催。 ・6月台湾日語教育学会「日語教育與日本文化研究」国際学術シンポジウム開催(於政治大学)。 ・6月10日大葉大學「2006応用日語学系國際研討會-日語的研究・教学・應用-」開催。 ・6月16日輔仁大学「宮沢賢治の児童文学」シンポジウム開催。 ・10月21日銘伝大学「台湾初級日語教学研討會-教学的問題與改善-」開催。 ・11月輔仁大学「アジア社会の将来展望」シンポジウム開催。 ・11月4日台湾大学「2006台大日本語文創新國際學術研討会」開催。 ・11月16日東吳大学主催第八回全 	<ul style="list-style-type: none"> ・安部晋三が日本首相就任。 ・教育部「大學法」による「大學評鑑辦法」發布。(「大學評鑑」実施。) ・日本は台湾の輸入最大国となった。(48284.2×100ドル) ・中国、香港、米国の次、日本は台湾にとって第四位の輸出国となった。(16300.3×100ドル) ・「中正國際機場」を「台灣桃園國際機場」に改名。 ・1月台南市は宮崎県仙台市と「交流促進協定」締結。 ・5月台北市は神奈川県横浜市と「交流促進協定」締結。 ・11月高雄市は東京都八王子市と「友好交流都市」締結。

			<p>国高校生日本語スピーチコンテスト開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月25日台湾日本語言文芸研究学会・長栄大学共催「日本語文化研究国際学術シンポジウム-東アジアにおける日本語教育の今後の展望」開催。 ・11月25日致遠管理学院応用日語学系「2006 第一屆応用日語学系学術研討会」開催。 ・11月26日教育部・財団法人日本交流協會・中央廣播電台共催「2006 全国大学専科学校日本語スピーチコンテスト」開催(於銘伝大学)。 ・12月1日南台科技大学応用日語系「2006 年国際学術研討会-応用日語(学)系之現況和展望-教育和研究一」開催。 ・12月3日日本語能力試験実施。 ・12月16日台湾日本語文学会「2006 日本語文学術研討會」開催(於台北YMCA)。 	
2007年	民国96年	<p>・輔仁大学に委託して「第二外國語教育學科中心」を設置。</p> <p>・台中技術学院五年制商業專門學校應用外語科日文組が應用日語科に組織変更。</p> <p>・和春技術學院應用日語系が「應用外語系-英、日語商務組」に組織変更。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月23日銘伝大学「2007 応用語文教育的理論與實際」国際シンポジウム開催。 ・4月20日国立高雄第一科技大学「2007 數位外語教學研討会」開催。 ・5月26日大葉大学「2007 応用日語学系国際研討会-中日文化暨民俗、藝能、信仰-」開催。 ・7月7日政治大學日本語文學系「外語能力測驗之動向與展望國際學術會議」開催。 ・10月13日東吳大学主催第九回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・10月26日義守大學應用日語學系「全方位日語應用國際學術會議」開催。 ・11月3日台湾大学「台大日本語文創新国際学術研討会」開催。 ・11月17日台湾日本語言文芸研究学会・長栄大学共催「日本語文化研究国際学術シンポジウム-台湾における日本研究の現状と今後の課題-」開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福田康夫が日本首相就任。 ・交流協會『2006年度台湾における日本語教育事情調査』報告書発表。 ・陳水扁総統、国際社会に対して「台湾」名義での国連加盟を強調(2007年8月申請、却下)。 ・日本は輸入最大国となった。(45936.1×100ドル) ・中国、香港、米国の次、日本は台湾にとって第四位の輸出国となった。(15933.3×100ドル) ・2月台湾高速鉄道正式運営。 ・3月中台県(石岡郷)は鳥取県三朝町(東伯郡)東京都八王子市と「交流促進協定」締結。 ・6月基隆市は沖縄県宮古島市と「姉妹都市」締結。 ・8月8日日本との運転免許証の相互承認に関する取り

			<ul style="list-style-type: none"> ・12月2日日本語能力試験実施。 ・12月9日日本亞細亞航空公司日華青少年交流協會主催・財團法人交流協會台北事務所協力「第十七屆日本亞細亞航空盃日語演講比賽(南部地區)」開催。 ・12月日本亞細亞航空公司日華青少年交流協會主催・財團法人交流協會台北事務所協力「第二十四屆日本亞細亞航空盃日語演講比賽(北部地區)」開催。 ・12月15日銘伝大学応用日本語学系・台湾日本語文学会・台湾日本語教育学会共催「2007年度日本語文・日本語教育国際学術研討會」開催(於銘伝大学)。 	<p>決め。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月「中正紀念堂」を「台灣民主紀念館」に改名。
2008年	民国97年	<ul style="list-style-type: none"> ・高雄大學東亞語文學系日語組成立。 ・「高級中學學生預修大學第二外語課程專班」設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月19日南榮技術學院「英日語教育文化国際学術研討會」開催。 ・3月台湾大学文学院・日本二松学舎共催「第五屆日本漢学国際研討會」開催。 ・3月14日銘伝大学2008応用日本語学系專業日語教育学術研討會国際シンポジウム開催。 ・3月8日東海大学「国際會議ひとことば・越境」開催。 ・5月台湾大学日本語文学科「2008台湾大学創新国際学術研討會」開催。 ・5月17日台湾応用日本語学会「応用日語国際学術研討會」開催(於国立餐旅学院)。 ・6月7日東海大学国際會議「もう一つのことば、手話」開催。 ・9月台湾大学日文学系・日本和漢比較文学会共催「和漢比較文学研討會」開催。 ・10月15日台湾大学日文教学的新視野暨研究生研習營開催。 ・11月1-2日輔仁大学「文化における老い」国際シンポジウム開催。 ・11月1日南台科技大学応用日本語系(所)之教學與產業界的結合」開催。 ・11月1日義守大学「2008日語教育與觀光人文」国際学術シンポジウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府が2008年に「留学生30万人計画」を発表。 ・釣魚台事件発生。 ・英語雑誌『English Career』で2008年に出版された『國家外語政策專輯』出版。 ・国民党馬英九が中華民國總統就任。 ・5月20日、日本政府が交流協會を通じて初めての總統就任祝賀メッセージを伝達した。 ・麻生太郎が日本首相首相就任。 ・6月10日尖閣諸島領海内にて海上保安庁巡視船と台湾側遊漁船(連合号)が接触し、遊漁船が沈没するという事案が発生した。 ・9月19日馬英九總統は、台北駐在邦人記者との懇談会で日台關係を「特別パートナーシップ」と定義づけ、日本との実務關係を更に発展させる意向を表明した。 ・9月彰化県は北海道旭川市と「国際交流協定」締結。 ・10月「國民年金」制度導入。

			<ul style="list-style-type: none">△開催。<ul style="list-style-type: none">・11月8日大葉大學「2008 應用日語學系國際研討會-日語的研究・教學・應用-」開催。・11月15日台灣日本語言文芸研究学会・長栄大学共催「日本言語文化研究國際學術シンポジウム-日本と中国・台灣の接点」開催。・11月29日台灣日本研究学会「2009 全國大學專科學校日本語スピーチコンテスト」開催(於台灣師範大學)。・11月29日日本亞細亞航空公司日華青少年交流協會主催・財團法人交流協會台北事務所協力「第十八屆日本亞細亞航空盃日語演講比賽(南部地區)」開催。・11月日本亞細亞航空公司日華青少年交流協會主催・財團法人交流協會台北事務所協力「第二十五屆日本亞細亞航空盃日語演講比賽(北部地區)」開催。・12月7日日本語能力試驗實施。・12月13日東海大学國際會議「社區支援系統的建立與發展-台灣、日本、中國事例之探討-」開催。・12月20日台灣日本語文学会「2008 年度日本語教育に求められる教材の諸相」國際學術會議開催(於淡江大學)。・12月台灣日語教育学会「2008 年台灣日語教育研究與實踐的現況暨展望」國際學術シンポジウム開催(於台北:銘傳大學)。	
2009年	民國98年	<ul style="list-style-type: none">・高雄餐旅學院應用外語系日語組が應用日語系二組織變更。・實踐大學應用日文學系成立。・元智大學應用外語學系碩士班日文組成立。・中華大學外國語文學系日本語文學組が應用日語學系に組織變更。・台中技術學院日本市場暨商務策略研究所碩士班成立。	<ul style="list-style-type: none">・日本語能力試驗は年2回実施するようになった。・3月13日銘傳大學2009 國際學術研討會「應用日語教育的理論與實踐」開催。・3月28日大葉大學「2009 應用日語學系國際研討會-日語研究的新視野-」開催。・3月21日台灣日本語文学会・台灣日本語教育学会・靜宜大學日本語文學系共催「2009 年度日本語文與日語教育」シンポジウム開催。・東吳大學2009年「日語教學國際會	<ul style="list-style-type: none">・鳩山由紀夫が日本首相就任。・台灣政府が2009年を「台日特別夥伴關係促進年」とする。・交流協會『2008年度台灣における対日世論調査』報告書發表。・5月1日、日本交流協會台北事務所齋藤代表が「台灣地位未定論」發言。・日本の一部のマスコミが台灣政府が「輕日」、知日

			<p>議」開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・6月13日に台灣日語教育學會夏季研究發表會開催。・10月17日台灣日語教育學會秋季日語教學研究發表會開催。・10月育達商業科技大學「第六屆應用日語學術研討會」開催。・12月6日、台灣日語教育學會年度大会及び2009年國際シンポジウム「台灣日語教育研究」開催。・12月台湾日本語文学会年度大会及び國際シンポジウム開催。	<p>人才がない、と批判する</p> <ul style="list-style-type: none">・6月台日間ワーキング・ホリデー（臺日青少年度假打工制度）実施。・台湾政府が東京に「臺灣文化中心」を設置。・日本国会が在日台湾人が外国人登録證の国籍欄に「臺灣」と登録可と法律改正。・日本交流協會の補助によって政治大学に「當代日本研究中心」を設置。台湾「八八水災」発生、日本政府が緊急義捐金寄付。・台湾駐日代表處が「札幌辦事處」を設置。・2010年10月から東京羽田空港-台北松山空港間、毎日それぞれ4便運行。・小学校、中学校、高校で「外国語と文化教育」を実施。・馬英九總統の「愛台十二建設－「5. 智慧台灣」－「人才培育」－「加強語文及資訊教育」」という選挙政見によって行政院で2009年から「提升國民中小學英語文教學成效計畫」・1月台南市は栃木県日光市と「觀光友好都市」締結。・11月台中県(大肚郷)市は鳥取県北栄町(東伯郡)と「國際交流協定」締結。
2010年	民国99年	<ul style="list-style-type: none">・樹人醫護管理專科學校應用日語科成立。・新生醫護管理專科學校應用日語科成立。・台中技術學院日本市場暨商務策略研究所碩士班院生募集開始。・「推動高級中學第二外語教育第三期五年計畫」開始・致遠管理學院が台湾首府大學に改名、應用日語	<ul style="list-style-type: none">・2010年から日本語能力試験新制度実施。N1-N5という級別になった。・3月、銘傳大學2010國際學術研討會「商務觀光日語課程教材與教法學術研討會」主催。・3月27日、東吳大學外國語文學院2010年校際學術研討會「外語教學理論與實務：語言、文學與文化」開催。・3月27日、第一回全國技專校院日本語紙芝居コンテスト開催。・5月1、2日、東海大學日本語文學	<ul style="list-style-type: none">・菅直人が日本首相就任。交流協會『2009年度台灣における日本語教育事情調査』報告書発表。・交流協會『2009年度台灣における対日世論調査』報告書発表。・台湾大学何瑞藤教授旭日中綬章受賞。

		學系が應用外語學系日語組に組織変更。	<p>系国際学術シンポジウム「副用語のいろいろー語義、対照、教授法」開催。</p> <p>・5月29日に大葉大學應用日語學術研討會「日語的研究、教學、應用」開催。</p> <p>・6月28日に2010年「臺大日文教學的新視野暨研究生研習營」開催。</p> <p>・7月31日、8月1日に台湾日本語教育学会、台湾日本語文学会、政治大学共催世界日本語教育国際研究大会開催。</p> <p>・10月9日に台灣日本語教育学会秋季日語教學研究發表會開催。</p> <p>・11月20日台湾日本言語文芸研究学会第10回定例学会開催。</p> <p>・11月28日、台灣日本語教育学会年度大会及び国際学術シンポジウム「台灣日語教育研究」開催。</p> <p>・12月台湾日本語文学会年度大会及び国際シンポジウム開催。</p>	
2011年	民国100年	・靜宜大學日本語文學系碩士班成立。	<p>・3月11日、銘傳大學2011國際學術研討會「應用日語教育的理論與實踐」開催。</p> <p>・3月26日、第二回全国技專校院日本語紙芝居コンテスト開催。</p> <p>・3月27日東吳大學日本語文學系「多語言多文化同步教/學國際學術研討會」開催。</p> <p>・4月に高雄第一科技大學(第一科大)應用日語系近日於該校舉辦「2011 應用日語國際學術研討會」開催。</p> <p>・5月22日台灣日本語教育学会「春季日語教學研究發表會」開催。</p> <p>・6月19日東海大學日本語文系 國際學術研討會『日本文學教育在台灣－實施現狀與面臨的課題』開催。</p> <p>・7月に日本語教師研習會「教育実践と研究のつながりーステップ式質的研究法を通して」開催。</p> <p>・10月21日に文藻外語學院日本語文系2011年國際學術研討會「高等教育環境變化下之日語教育」開催。</p> <p>・11月4日に台灣大学日本語文創新國際學術研討會開催。</p>	<p>・日本311大地震発生。</p> <p>・台湾各界から総額 68 億 3,976 万 NT\$ (187.4 億円) の義捐金を提供。</p> <p>・野田佳彦が日本首相就任。</p> <p>・行政院委託研究案の報告書『我國外語政策之檢討與展望』出版。</p> <p>・2012-2016 年度の「教育部中程計畫」では国際交流人材養成の重要性が唱えられる。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・台灣日語教育學會年度大会及び2009 年國際シンポジウム「台灣日語教育研究」開催。 ・11 月 28 日に第 28 回「日本航空盃日語演講比賽」開催。 ・12 月、台灣日本語文學會「2011 年度台灣日本語文學國際學術研討會－全球化中的日本語文研究展望」開催。 ・12 月台灣日本語文學會年度大会及び國際シンポジウム開催。 	
2012 年	民国 101 年	<ul style="list-style-type: none"> ・東海大学日本語文學系が日本語言文化學系に改名。 ・真理大學日本語文學系が應用外語學系日本語文組に組織変更する。 ・元立徳大学應用日語學系が康寧大學應用外語學系日語組に組織変更。 ・景文科技大學應用日語系が應用外語系日語組に組織変更。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 月 5 日「日語 配音比賽」開催。 ・3 月 12 日、銘傳大学「日語看圖說故事比賽」開催。 ・3 月 16 日、銘傳大學 2012 國際學術研討會「應用日語教育的理論與實踐」主催。 ・3 月 17 日、大葉大学 2012 應用日本語國際シンポジウム開催。 ・4 月 28 日、第三回全國技專校院日本語紙芝居コンテスト開催。 ・5 月に高雄大学「第一屆東亞語文社會國際研討會：以日本、韓國、越南為出發點」開催。 ・6 月、台北城市科技大學と文藻外語學院共催「2012 年全國大學生日語配音比賽」(アフレココンテスト) 開催。 ・6 月に國技餐旅大學應用日語國際シンポジウム開催。 ・7 月 14、15 日に交流協會台北事務所主催 2012 年度第 1 回日本語教育巡回研修会開催。 ・7 月 31 日、台灣日本語教育の泰斗蔡茂豊教授が東吳大学客員教授退官。 ・10 月 13 日東吳大学主催第十四回全國高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・10 月 27 日に南台科技大學應日系「2012 年應用日語系國際學術研討會」開催。 ・11 月 9-11 日交流協會主催 2012 年度第 1 回日本語教育巡回研修会開催。 ・11 月 17 日、輔仁大學日本語文學系 2012 年度國際學術研討會「推理的迷 	<ul style="list-style-type: none"> ・釣魚台事件。 ・日本が釣魚台を國有化。 ・安部晋三が日本首相就任。 ・交流協會『2011 年度台灣における対日世論調査』報告書発表。 ・5 月 22 日、日本スカイツリータワー開業。

			<p>宮」開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月24日台湾日本研究學會 2012 年「全國大專校院日語演講比賽」開催。 ・12月1日台湾日本語教育学会 2012 年度大会及び国際シンポジウム開催。 ・12月8日第22回日本航空盃南部地区日本語スピーチコンテスト開催。 ・12月8日台湾応用日本語学会・吳鳳技術大學共催国際シンポジウム開催。 ・12月15日台湾日本語文学会年度大会及び国際シンポジウム開催。 ・12月22日に交流協会台北事務所主催 2012 年度第1回中等教育機関日本語教師研修会開催。 	
2013 年	民国 102 年		<ul style="list-style-type: none"> ・1月12日に「2013 北區校際大專院校碩士班聯合發表大會」が銘傳大学で開催。 ・2月28日、交流協会 2012 年度第2回中等教育機関日本語教師研修会開催。 ・3月14日に銘傳大学 2013 國際學術研討會「應用日語教育的理論與實踐」開催。 ・3月16日に第四回全國技專校院日本語紙芝居コンテスト開催。 ・3月23日台湾日本語教育学会春季論文発表会開催。 ・3月23-24日、交流協「2012 年度第1回日本語教育巡迴研習会」実施。 ・3月、「2012 年度第二次日語教育巡迴研習會」実施。 ・3月30日、大葉大学応用日本語国際シンポジウム開催。 ・5月4日、明道大学で全国日本語ディベート大会開催。 ・5月18日、高雄餐旅大学で応用日本語教育シンポジウム開催。 ・5月18日、葉淑華教授が台湾応用日本語学会理事長当選。 ・10月19日東吳大学主催第十五回全国高校生日本語スピーチコンテスト開催。 ・11月30日台湾日本語教育学会・東 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流協会設立 40 周年。 ・2月10日NHK「日中交流促進」報道で台湾人観光客を中国人扱い。 ・5月16日、日本スカイツリータワーと台北 101 友好提携。

			<p>呉大学日本語文学科共催「2013 年度日本語教育国際シンポジウム」開催。</p> <p>・12月7日呉鳳科技大学2013年度応用日本語教育国際会議開催。</p> <p>・12月21日台湾日本語文学会2013年度国際会議が淡江大学で開催。</p>	
2014年	民国103年	<p>・「推動高級中學第二外語教育第3期5年計畫」(2010.01~2014.12)</p> <p>・「文藻外語學院」が「文藻外語大學」に昇格し、台湾の初めての外国語大学になった。</p> <p>・10月3日、教育部人文社会科学教育会発足。</p> <p>・12年国民基本教育実施開始。外国語文が語文領域に属する。</p> <p>・教育部「基礎語文與多元文化能力培預計畫」実施。</p> <p>・教育部「多國語文與文化連結創新課程發展計畫」実施。</p>	<p>・1月11日、淡江大学日本語文学科主催「第6回北區校際大專院校碩士班聯合研究發表大會」開催。</p> <p>・2月8日、台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第21回月例会「日本語教育におけるソーシャルネットワークワーキングを学ぶ」開催</p> <p>・3月14日、銘伝大学応用日本語学科主催「2014年国際學術研討会」開催。</p> <p>・5月24日台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第22回例会「A1レベルを可視化する」開催。</p> <p>・5月3日、東呉大学日本語文学科主催「2014年日本語教学国際会議」開催。</p> <p>・5月31日、静宜大学日本語文学科・台湾日語教育学会共催「日本語教学研究學術研討会」開催。</p> <p>・6月13-14日、日本公益財団法人渥美国際交流財団関ログローバル研究会(SGRA)、元智大学人文社会学院、元智大学応用外国語学科及び研究所共催「第4回台日アジア未来フォーラム」開催。</p> <p>・6月21日、淡江大学日本語文学科・村上春樹研究室共催「第3回村上春樹国際學術研討会」開催。</p> <p>・6月21日、台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第24回例会開催。</p> <p>・7月6日、2014年第1回「日本語能力試験」実施。</p> <p>・7月10日-12日、豪州日本研究学会(JSAA)主催「日本語教育国際研究大会(SYDNEY-ICJLE 2014)」開催。</p> <p>・9月27日台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第25回例会「習ってすぐに使えるようになる日本語コースのデザイナー―到達目標の設定</p>	<p>・1月1日(高雄),2日(台北)、103學年度「高中第二外語國情與互動行為標準教學工作坊」</p> <p>・3月1日、日本国立東京外国語大学・台湾国立台湾師範大学共催「外国語教育とコンピュータ科学国際シンポジウム」開催。</p> <p>・3月8日(台北),9日(高雄)102學年「高中第二外語非語言語教學工作坊」</p> <p>・6月14日、財団法人日本交流協会主催2014年度第1回日本語教育研修会(陳巍仁先生)「日本語教師のためのアニメ文化の授業への応用～新海誠『ほしのこえ』を例にして～」開催。</p> <p>・6月14日(桃園)「高中第二外語課程與國際教育教學工作坊」</p> <p>・6月23日、財団法人日本交流協会主催2014年度第2回日本語教育研修会「会話能力を評価する-JF日本語教育スタンダード準拠ロールプレイテストの紹介-」開催。</p> <p>・7月21~23日、「第九屆北區高中第二外語體驗營」。</p> <p>・8月、「12年国民基本教育政策(12年国教)」の実施。</p> <p>・8月、財団法人日本交流協会主催、2014年度第3回日本語教育研修会(堀井恵子先生)「グローバル人材育成のためのビジネス日本語教育-ある日ビジネス日本語を教えてと言われたら-」開</p>

			<p>と評価」開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・10月24日、財団法人日本交流協会主催「2014年度日本語教育情報説明会」開催。・10月25日、台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第26回例会「Can-do 活動集の開発及び使用—A1A2の教材・教授法を例として—」開催。・11月15日、輔仁大学「新旧の出会い—ところ—日本語文法の理論と実践—」開催。・11月22日、真理大学主催「第9回外国語文教学及び跨文化研究国際学術研討会」開催。・11月22日、台湾応用日語学会・呉鳳科技大学応用日本語科共催「2014年度応用日本語教学国際シンポジウム」開催。・11月29日、台湾日本語教育学会・東呉大学日本語文学科共催「2014年度国際学術シンポジウム」開催。・11月30日、台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第27回例会特別ワークショップ「スタンダードに基づいた日本語教育—マスタープランからレスンプランへ」開催。・12月7日、2014年第2回「日本語能力試験」実施。・12月20日台湾日本語文学会・淡江大学日本語文学科共催「2014年度国際学術シンポジウム」開催。・12月27日台湾日語教育学会主催 J-GAP TAIWAN 第28回例会開催。	<p>催。</p> <ul style="list-style-type: none">・9月、財団法人日本交流協会主催2014年度第4回日本語教育研修会（陳永基先生、郭獻尹先生）「台湾人学習者への日本語発音指導」開催。・11月3日、陳伯陶氏、鄭清茂氏、林文月氏、旭日中綬章受賞。・12月1日、日台ワーキング・ホリデー制度の査証手数料免除の実施。・12月6-7日、「第14回東呉ウルトラマラソン」開催。日本選手7人が参加。日本語学科学生がボランティアとして活躍。
2015年	民国104年	・教育部「多國語文與文化連結課程推動」計画実施開始。	<ul style="list-style-type: none">・台湾日本語教育学会 J-GAP TAIWAN 毎月例会。・3月13日銘傳大學「応用日本語教育の理論と実践」国際シンポジウム開催。・3月28日大葉大學「日本語の研究・教育・応用」国際シンポジウム開催。・4月24日高雄大学「東アジア語文社会」国際シンポジウム開催。・5月2日文藻外国語大学主催「日本文学・言語・文化」国際フォーラム開催。・5月30日静宜大学「日本学と台湾	<ul style="list-style-type: none">・6月26日劉枝萬氏日本政府より平成27年度春季外国人叙勲旭日小綬章受賞。・6月30日許水徳氏日本政府より平成27年度春季外国人叙勲旭日大綬章受賞。・7月14-16、台湾日語教育学会・交流協会 J-GAP TAIWAN 教師研修合宿実施。・11月林丕雄氏旭日中綬章受賞。

		<p>学」国際シンポジウム開催。</p> <p>・7月5日、2015年第一回日本語能力試験行われる。</p> <p>・7月14-16、台湾日語教育学会・交流協会 J-GAP TAIWAN 教師研修合宿実施。</p> <p>・7月25-27日淡江大学村上春樹研究センター主催2015年国際学術シンポジウムが北九州で開催。</p> <p>・10月3日東海大学で台湾日本語教育学会主催「2015年日語教育研究座談会ー日本語文と文化との連結課程探求（日本語文與文化連結創新課程探討）」開催。</p> <p>・10月8日台湾大学「全国大学院生日本研究研修キャンプ」開催。</p> <p>・10月25日台湾大学「臺大日本語文創新國際學術研討會」開催。</p> <p>・11月14日台湾応用日語学会吳鳳科技大学「応用日語教育」国際シンポジウム開催。</p> <p>・11月14日輔仁大学「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」台湾大会開催。</p> <p>・11月21日靜宜大学「台日児童文学発展の歩みと未来」国際シンポジウム開催。」</p> <p>・11月28日台湾日語教育学会・東吳大学日本語文学系共催「学習者主体の日本語教育の再考」国際シンポジウム開催。</p> <p>・12月19日台湾日本語文学会「日本語文学研究における「S字カーブ」への挑戦」国際シンポジウム開催。</p>	
--	--	---	--

参考文献：

- 黄宣範 1995『語言社会與族群意識』（2004 新版）、文鶴出版
- 吳密察監修 2000『台湾史小事典』遠流出版
- 公益財団法人交流協会ホームページ (<http://www.koryu.or.jp/taipei>)
- 交流協会『2009年度台湾における日本語教育事情調査』報告書
- 交流協会2009 2010 2012『台湾における対日世論調査』報告書
- 蔡茂豐 2003『台湾日本語教育の史的研究（上下）』大新書局
- 台湾教育会 1939『台湾教育沿革誌』（1995 年南天書局復刻）
- 張博宇編 1972『台湾地区国語運動史料』台湾商務書店
- 方師鐸 1965『五十年來中国国語運動史』国語日報社
- 賴錦雀 2005「台湾の日本語教育政策に見る台湾人の日本観」日本天理台湾学会第15回研究大会口頭発表稿
- 賴錦雀 2005「台湾日本語教育年表(1895-2005年)」『日本学と台湾学』第4号、靜宜大學